

「2021 世界体操・新体操選手権北九州大会」に係る パブリシティ効果等について(報告)

2021年10月に本市で開催された「2021 世界体操・新体操選手権北九州大会」について、パブリシティ効果及び経済波及効果の調査結果をお知らせします。

1 パブリシティ効果

パブリシティ効果 446億3,600万円

<内 訳>

(株)西鉄エージェンシー調べ

調査媒体	パブリシティ効果	件数
① テレビ(全国、福岡、BS)	400億6,800万円	642件
② 新聞	21億9,500万円	807件
③ 雑誌	900万円	32件
④ WEB	20億1,600万円	5,549件
⑤ SNS(Twitter、Instagram)	3億4,800万円	24,066件
合計	446億3,600万円	31,096件

※ 調査範囲:テレビ・新聞・雑誌は「国内」、WEB・SNSは「国内」・「海外」

※ 調査期間:2020年11月1日～2021年12月31日(14ヵ月間)

<ポイント>

- 今大会は、「世界体操」と「世界新体操」の史上初の同時開催であるとともに、東京オリンピック後、国内初の世界選手権であったことから、国内外から大きな注目を集め、メディアで数多く報道された。
- 「100日前イベント」など市民向けの「大会関連イベント」、選手等との「市民交流」、街を体操一色に染めた「都市装飾」といった様々な取組みや、万全のコロナ対策を講じ100%有観客で開催できたことで、これらを紹介する報道も相次いだ。

2 経済波及効果

経済波及効果 40億2,700万円

<内 訳>

北九州市立大学調べ

種別	主な内容	経済波及効果
①大会本体	・大会開催 ・大会参加者による消費支出 等	18億8,600万円
②北九州市関連事業	・大会会場の改修 ・おもてなし、気運醸成、情報発信 等	21億4,100万円
合計		40億2,700万円

※ 大会期間:12日間、大会会場:2会場、大会参加:71カ国1,271人、観客:26,665人

【問い合わせ先】

市民文化スポーツ局世界体操・新体操選手権推進室

TEL:093-582-3666/FAX:093-582-2677

担当:藤本(次長)、堤(係長)